

「こどもとしょかん」サポートセンター

滋賀まるごとが「子どもたちにとっての“としょかん（本に親しむ環境）”となるために、全県ネットワークの中心的な役割を担う。

【3つの特長】

県立図書館内に設置

情報と物流が充実

学校図書館指導主事（教員）
司書（読書活動普及担当）を配置

学校図書館支援には学校に精通した
専任の職員が不可欠

幼小中教育課、生涯学習課、
「こどもとしょかん」サポートセンターとの連携

関係課との連携が最重要



【3つの事業（柱）】

子ども読書支援

地域や家庭の
読書を支える

学校図書館支援

学校図書館の
活性化を推進する

読書支援策の総合 調整・研究・発信

■子ども読書支援

多様な主体と連携したイベント等

- 「おはなしのひろば」の開催
滋賀文教短期大学、平和堂、彦根市立図書館との協働により実施
- じんけんミニフェスタ 布絵本等の体験コーナー
布絵本のボランティアグループのご協力により
「布作品で元気に遊ぼう」コーナーを設置
- 県立美術館との連携事業「絵本にどばん！」
県立美術館開館40周年の記念イベント「美術館で夏祭り！」で、
読み聞かせとしおりづくり

施設の子どもたちへの読書支援

県中央子ども家庭相談センター(一時保護所)や
大津少年鑑別所の求めに応じた支援

子どもの読書を支える人材育成

子ども読書ボランティア研修会

市町との連携

- 市町図書館が実施するアウトリーチプログラムへの支援の試行
- 多文化共生プログラムの試行
長浜市と連携し、「長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス(GEO)」に
多言語資料を配置

■学校図書館支援

市町立小・中学校訪問

学校図書館指導主事と司書(読書活動普及担当)が19市町、小・中学校のどちらか1校の学
校長(学校図書館長・司書教諭・学校司書と懇談し、学校図書館の現状と課題を把握

学校図書館の運営相談、講師派遣

学校等からの求めに応じた「こども としょかん」サポートセンター職員による運営相談や出
前講座等

学習・情報センター機能の支援

- 学校図書館支援セットの整備
学校の授業で活用しやすいように「セット組み」を行い、円滑な学校図書館支援用図
書の貸出を実施
- 学校図書館活用セミナーの開催
「DX時代の学校図書館支援とYA(ヤングアダルト)サービスについて」

読書センター機能の支援

- 特別支援学校への訪問と読書支援
学校からの希望に応じ、子どもに必要な図書や、ボランティアグループの協
力により布絵本、布遊具を提供

YA(ヤングアダルト)世代への取組

- 高等学校DX推進加速化推進事業
- 高校生(図書委員)の図書館研修・見学

学校図書館を支える人材育成

- 総合教育センター研修での講話

- ・ 学校図書館を活用した年間指導計画(小・中学校、高校)
- ・ 学校図書館の活用事例(小・中学校、高校、特別支援学校)
- ・ 授業に活用できる郷土資料、デジタルアーカイブの紹介
- ・ 学校図書館支援用貸出セットの紹介

他

■読書支援策の総合調整・研究・発信

「こどもとしょかん」ポータルサイトの開設・運用

■ 子ども読書支援

(② 子どもの読書活動を支えるひとづくり)

○ 子ども読書ボランティア研修会

第1回目を県立図書館にて7月に開催。81名参加。(今年度第2回を12月に予定)

講 師 大阪国際児童文学振興財団(IICLO) 理事・総括専門員 土居 安子さん

演 題 「子どもの本の現在(いま)」

この2、3年で出版された膨大な絵本、知識や物語の本をわかりやすく解説。

グループワークを通して、目の前の子どもにぴったりの本を見つけることを学んだ。

(③ 子ども・子育て世代にとって居場所となる図書館づくり)

○ 「おはなしのひろば」の開催

滋賀文教短期大学、平和堂、彦根市立図書館、「こどもとしょかん」サポートセンターのコラボ企画。

令和6年 8月27日(金) 10:30 ~ 15:00、平和堂ビバシティ彦根 1階センタープラザ

滋賀文教短期大学の教員養成課程と司書養成課程の学生：

大型絵本の読み聞かせやエプロンシアター、手遊びなど

彦根市立図書館：しおりづくりコーナー・雑誌のリユースコーナー

「こどもとしょかん」サポートセンター：絵本のコーナーを設置

○ 多文化共生プログラムの試行 ※民間助成金を活用

長浜市と連携し、「長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス(GEO)」に多言語資料を配置。

長浜市立図書館の利用案内もあわせて配置。

■ 子ども読書支援

○ じんけんミニフェスタ 布絵本等の体験コーナー

令和6年 10月27日(日)10:00～15:00、県立図書館1階 談話室

布絵本のボランティアグループのご協力により「布作品で元気に遊ぼう」コーナーを開設

○ 施設の子どもたちへの読書支援

県中央子ども家庭相談センター(一時保護所)や大津少年鑑別所の求めに応じて、「こどもとしょかん」サポートセンターの司書が、子どもにあった本を選書し必要な本を届けている。中央子ども家庭相談センターでは本の読み聞かせも実施。

※この他、書店との連携事業を調整中

(④ 乳幼児期からの読書習慣の形成)

○ 県立美術館との連携事業「絵本にどほん！」

令和6年 8月25日(日)10:00～11:30～、美術館2階 キッズスペース

県立美術館開館40周年の記念イベント「美術館で夏祭り！」で、

「こどもとしょかん」サポートセンター司書による読み聞かせとしおりづくり

○市町図書館が実施するアウトリーチプログラムへの支援の試行

市町図書館が実施するアウトリーチプログラムへの支援として、絵本コーナーの開設や読み聞かせ等を実施

■ 学校図書館支援

(① 学校図書館の機能強化および取組の充実)

○ 市町立小・中学校訪問

9月から来年2月にかけて、学校図書館指導主事と司書（読書活動普及担当）が19市町、小・中学校のどちらか1校を訪問。教育委員会指導担当者同席のもと、校長（学校図書館長）、司書教諭・学校司書（配置されている場合）と懇談。

「日常、どの程度、学校図書館が活用されているか」など、学校図書館の現状と課題を把握し、次年度以降の取組につなげる。

○ 特別支援学校への訪問と読書支援

学校図書館指導主事と司書（読書活動普及担当）等が特別支援学校を訪問。希望があった学校に、子どもに必要な図書や、ボランティアグループの協力により布絵本、布遊具を届ける。

○ 学校図書館の運営相談、講師派遣

学校等からの求めに応じ、「こどもとしょかん」サポートセンター職員が学校等を訪問し、運営相談や出前講座等を行う。

○ 学校図書館支援セットの整備

学校図書館支援用の図書を整備するとともに、学校の授業でも活用しやすいように「セット組み」を行い、円滑な学校図書館支援用図書の貸出を実施する。

■ 学校図書館支援

○ 高校生(図書委員)の図書館研修・見学

7月、「こどもとしょかん」サポートセンターの司書が講師となって、東大津高校(図書委員)を対象に、休館日の県立図書館を使用した調べ学習の実践、図書館見学を実施。



○ 学校図書館活用セミナー

9月に県立図書館にて開催。

講 師 滋賀文教短期大学 国文学科 講師 有山 裕美子さん

演 題 DX時代の学校図書館支援とYA(ヤングアダルト)サービスについて

GIGAスクール構想により学校現場では1人1台端末が導入される中、子どものよりよい読書環境に向けた学校図書館支援のあり方や、不読率が増加するYAに向けたサービスのあり方を考えた。

○ 高等学校DX推進加速化推進事業

9月に、東大津高校とのコラボにより、1年2組40名を対象に開催。

内 容 ・滋賀大学教育学部 教授 加納 圭 さんによる講義

「ろう児・難聴児をも対象としたインクルーシブSTEAM教育」

・「こどもとしょかん」サポートセンターによる「読書バリアフリー」の紹介、図書館見学

○ 総合教育センター夏季研修「第2回司書教諭等連絡協議会」での講話

8月、学校図書館指導主事が講師となって、「子どもが主体となる読書活動の推進に向けて」の講話を行った。